

# 令和4年度 東京都立小平高等学校

## 普通科・普通科外国語コース

### 推薦に基づく選抜

#### 小論文

##### 注 意

- 1 本文と問題が2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは午後0時50分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた場所に記入しなさい。解答欄の中に、題名・中学校名・氏名など、答え以外のものを書いてはいけません。
- 7 解答用紙は横書きです。間違いのないように注意しなさい。
- 8 机の上には、受検票、問題用紙、解答用紙、鉛筆、消しゴム、時計（時計以外の機能のないもの）以外のものを置いてはいけません。
- 9 開始の合図があるまで用紙に手を触れてはいけません。開始の合図があったらすぐに、問題が印刷されていることを確認しなさい。印刷されていない箇所や、印刷が不鮮明な箇所があったら、手を挙げなさい。

以下に示す文章と資料を読み、後の問題に答えなさい。

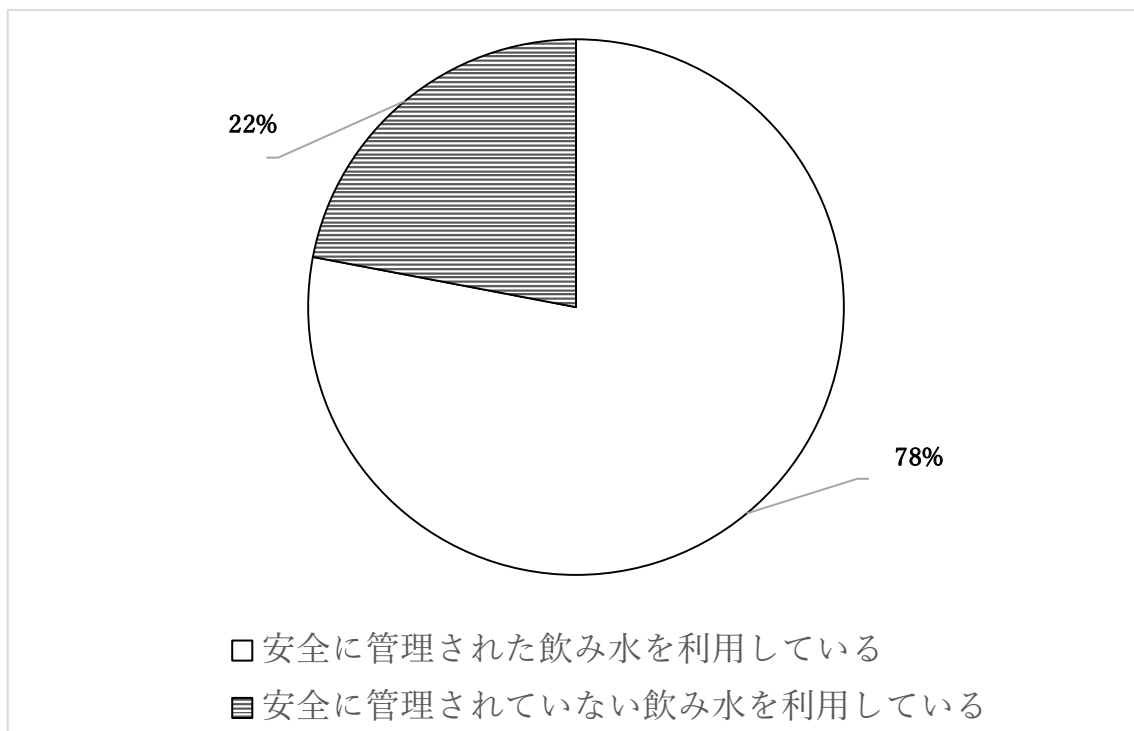
SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17 の目標から構成される国際目標のうち、6 番目の目標として「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」が掲げられている。簡単に言えば、「すべての人が安全で安価な飲み水を入手できる」ことを目指している。

一方で、「安全に管理された飲み水」でなければ、人々の健康を守ることはできないと言われている。また、先進国では、飲み水のための施設や浄水技術、それに必要な人材や資金を備えている国が多く、ほぼ全ての地域で安全に管理された水を確保できる状況にある。

資料 1 は、2020 年度末時点の世界の人々の飲み水への入手状況を表している。

資料 2 は、安全に管理されていない飲み水を利用している人々の国籍の割合を表している。

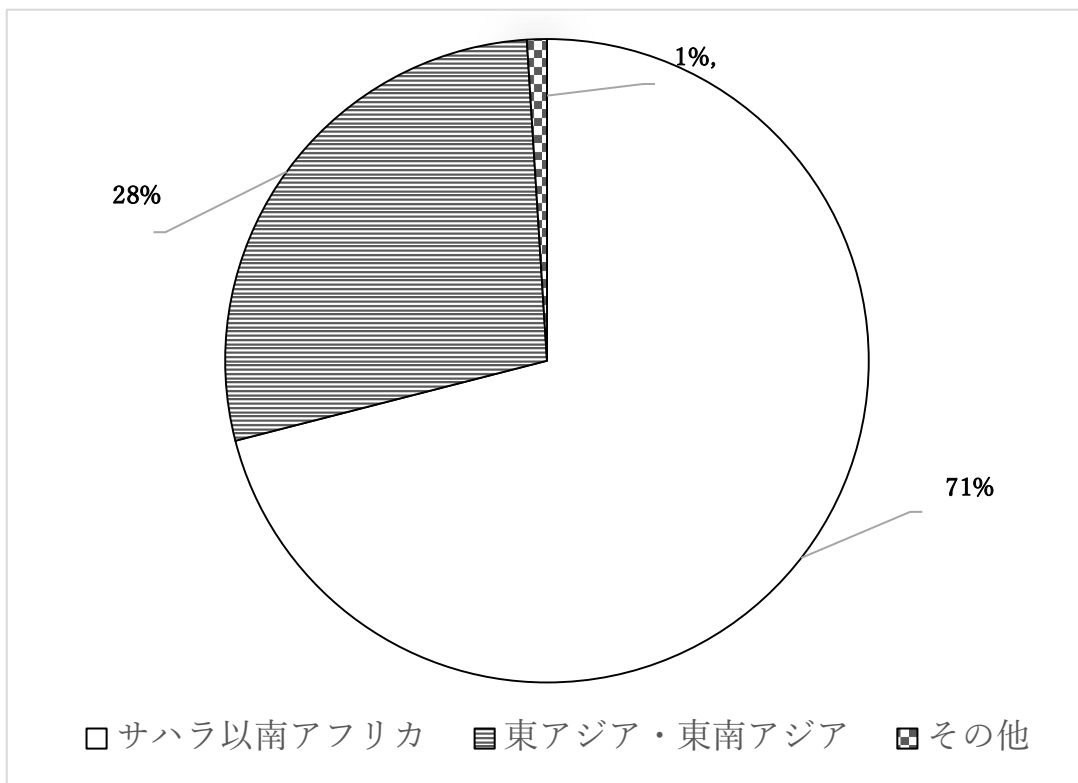
資料 1 世界の人々の飲み水の入手状況(2020 年度末時点)



※世界の総人口 2020 年度末時点で約 76 億 7696 万人とした場合の割合とする。

出典：日本ユニセフ協会

資料2 安全に管理されていない飲み水を利用している人々の割合(2020 年度末時点)



出典：日本ユニセフ協会

<問題>

資料1と資料2から、読み取れることを記述しなさい。次に、それらを踏まえた上で、2030年までに世界が達成すべき目標の一つである「すべての人が安全で安価な飲み水を入手できること」を実現するためにはどうしたら良いか。国や個人として取り組むべきことを具体例を含めて600字以内で記述しなさい。